

たわわ

TAWAWA

NPO 法人地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2011年4月25日

114号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

東日本大震災、被災地の障害者を支える

## チャリティーコンサートを！

——いま私たちにできる事、ともに頑張る事で連帯したい——

はじめのうちは“想定外”“未曾有の大震災”という言葉が、驚きの天災の意味あいでも使われていましたが、次第に避けられなかった仕方の無いことだったという意味で免罪符のような使われかたになっていないでしょうか。



第一報で不安を感じさせられた福島原発の事故は、日に日に悪くなる一方で、あの大津波の災禍さえかすんで行きそうな有様です。

\* \* \*

この一ヶ月あまり、被災地のかたがたには遠く及びませんが、私たちも様々なことを体験し、それが自分たちの生活の危うさを考えさせてくれました。平和なときは「思い」を口にし、見聞きするだけで実態が伴っているかのように思い込みがちですが、もっとちゃんと確認しあってゆかね

ばならないと何度も知らされました。人と人が支えあう事、福祉の意味の重いことも...

\* \* \*

テレビの映像の中に、感動させられた事がいくつかありました。それは、大きな子どもたちが年下の子どもたちの手を引いてすばやく、しかも整然と高台へ逃げていくすがたでした。それは、何度か津波に襲われた地方の教訓と、支えあって生きることが自然に身に着けている子どもたちの後姿でした。きっと普段の訓練も生きていたのだと思います。





これに似た話として、要支援者を地域で確実に担当して非難させ、被害が少なかった地域や、中学生たちが、すばやく近くの老人施設の避難に駆けつけた話など、あの“想定外”の混乱の中で行われたと言う事に驚かされもし、救われる思いもしました。

横浜では、ようやく日常の落ち着きを取り戻しました。私たちが知りたくてもなかなかテレビでは見えなかった被災地の障害者たちの様子もようやくポツポツと報道され出し、直接現地へ支援に入った人たちの報告も聞く事ができるようになりました。

思ったとおり、どの避難所にも障害者の姿は無く、自宅にいる人や小規模の作業所のようなどころへは、支援の手が届いていないばかりか、孤立状態のところもあったそうです。

\* \* \*

いまは、支援組織も立ち上げられ調査も行なわれ始めていて、全国的に救援の手も差し伸べられつつありますが、一般の人たちに必要な物に加え、障害者ゆえに必要な医薬品・物資などや、住環境を整えること、また支援を届ける活動にも、経費がかかります。

そこで、私たちも被災地の小規模な施設や障害者のために何らかの支援をと考えました。現地に入る事は出来ないまでも、こちらで活動することで連帯したいと考え、チャリティーコンサートを企画しました。

内容は、下記のとおり。演奏者のドミトリー シシキンさんは、以前にも一度当会 NPO 法人地域で生きる障害者を支える会のチャリティーに出演していただいております。

私たちは、昨年の秋に重度障害者のためのコンサートを行なったばかりですし、支援の募金活動は2重3重に行なわれていますので、実施は少し大変かもしれませんが、幸い国際交流・文化交流として来日される時に協力が得られる事になりましたので、この機会に行う事といたします。収益金は全て被災地の小規模の施設や障害者の支援のために、横浜の障害者団体で構成する支援グループを通し送ります。

会員の皆様もお知り合いにぜひご紹介ください。一緒に頑張りましょう。

(写真・鈴木仁市)

## 東日本大震災、被災地の障害者を支えるチャリティーコンサート

### ドミトリー・シシキン ピアノリサイタル

演奏者・(19才) ピアニスト・第5回 若いピアニストのための

国際ショパンコンクール優勝者 他にも国際コンクール優勝歴多

期日：2011年 **6月12日(日)** [開演] 13:30

会場：**横浜ラポール**

主催：**NPO 法人地域で生きる障害者を支える会**

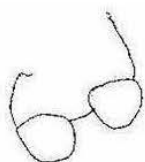
後援：横浜市港北区役所、社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会障害者支援センター、港北区ボランティア連絡会、神奈川新聞厚生文化事業団、

日本・ロシア音楽家協会、在日ロシア連邦大使館、 \*チケット 3000円

協力：花陽の会、コーラス唱の会

\*お問い合わせ「支える会」

## めがねの声



ら...

◆被災地は大変なときだから...

地震があつて、もう一ヶ月たっていますが、あつという間だったり、ずいぶん長くまだ一ヶ月しか過ぎていないのかとも感じるがあります。

まだ少し収まってきたかと思うと、大きな余震があつたりで、心配ですが皆さんはいかがですか。

あれからいろいろな人にお会いしたり、メールでお返事をいただいたりしました。いろいろお話をしたり、よつばのスタッフも写真を見せて下さいました。写真を見ると自動車が逆立ちをしていたりみちが割れて段差が出来ていたり驚きました。

被害に合った人たちは、一ヶ月もお風呂に入れなかったり、お食事を1度しか食べられなかったりした人もいますと言っていました。いろいろお話をききました。テレビでは見られない様子を見たり聞いたり話したりしました。私の知り合いから聞くとびっくりすることばかりです。

ようやく電気がつくようになったという話や、だんだん疲れで病気になる人が増えたり、病院のせんせいも倒れたりしている事や、お薬が無くて病気がひどくなる人も多いと聞きました。はじめて知りました。

テレビで毎日同じニュースばかりだとわからないことも、あります。

見てきたり、体験したりした人にお話を聞くと「とても、いま大変だな」と思います。

私が小さい頃は、地震はあまり怖いとも思いませんでしたが、この頃は、たくさんあるたびに怖いなおもいます。グループホームでも、避難訓練のことや緊急持ち出し袋の用意の事などについて話し合ったりしています。

ここは、少し幸せで、電気もたべるものも不自由ないので、私も元気をだして動かなければと思います。

大原友子

### 「NPO 法人地域で生きる障害者を支える会」

### 平成23年度第一回総会のお知らせ

下記により今年度第一回総会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：5月23日（月）午後1時分～

会場：活動ホームしもだ（TEL：045-562-3600）

議題：平成22年度事業報告、収支決算報告・監査報告について

：平成23年度事業計画、収支予算案について

：チャリティーコンサートについて

：役員について



よつばホーム

大震災から1ヶ月程過ぎたのに、何だか毎日グラグラと・・・。

1日も早く余震が収まってくれることと、被災されたみなさんが1日でも早く元のような生活ができる日が来ることを願っています。

先日、新羽にある『ヨネヤマプランテーション』まで行ってきました。

勢津子さん、花岡さんは行く気満々で出掛ける準備をしていましたが、次郎んはあまり気乗りがしないご様子・・・。絶好のお散歩日和だったので、再度誘って外に出てみれば、ノリノリで歩きました。

遊歩道は右も左も花満開！ 『この花は〇〇という花なのよ！』等々をよつばの植物博士？と呼ばれる勢津子さんの解説を聞きながら春の日差しを浴びて歩きました。

到着してからは勢津子さんは園内の花を楽しみ、鉢植えを購入。

花岡さん、次郎さんは店内の喫茶コーナーでソフトクリームを食べたり、ぬいぐるみのような犬を見て喜んでました\* \* \*

4月7日は次郎さんの誕生日でした。事前に次郎さんからケーキのリクエストを聞いていて、テーブルには希望のチョコレートケーキが並びます。

「先月ひな祭りケーキ食べたばかりなのに。」などとかかわれながらも、とても嬉しそうです。

勢津子さん、花岡さん、スタッフで

「Happy Birthday dear 次郎さん～♪」と歌ってもらい、照れながらろうソクの火を消しました。とっても美味しそうに食べていたのが印象的でした。

\* \* \*



第2よつばホーム

3/11の大震災は全員、横浜ラポールで経験しました。

ステージ上の照明なども大きく揺れ、今まで経験したことの無い揺れに、みんな怖い思いをした様です。

活動ホームも地震の影響で数日臨時休みになってしまい、平日の日中をGHで過ごす日が数日できました。ヘルパーさんに臨時活動をお願いしたり、しもだの職員さんに応援きいていただいたりとみんなの協力により援助体制を確保できのんびり過ごせました。

\* \* \*

第2よつば開所以来ずっと愛用してきたリビングのテーブルがとうとう壊れてしまいました。そこで、先日家具屋さんへ新しいテーブルを買いに行きました。

みんなの希望など事前にリサーチし、車いすのサイズなど測って、ある程度準備していたのですが、いざ家具屋さんへ着くと「これいい！けど値段が・・・。こっちもいいけど色が・・・。これだと車いすに対して低すぎるか・・・。」などなかなか決めきれず。

2店目の家具屋さんでようやくリビングに合いそうなテーブルが見つかり、やっと購入までたどり着きました。新しいテーブルはGWに到着予定です♪